

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 15 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	中村重明
関係課名	図書館、水族博物館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり、個々のライフステージに応じ、学ぶことへの意欲や教養を高めています。 人と人とのつながりを深めながら学びの輪を広げ、地域活動に参加しています。 図書館や博物館から情報が発信され、多くの人が生涯学習の場として活用しています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習事業に積極的に参加します。 自分の経験や学習した成果を地域における教育活動に活かします。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習の場の確保、機会、情報の提供を行います。
	その他	

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に対する関心は高まっているものの、日常的に取り組んでいるのは、高齢者や子育てを終えた女性といった偏りが見えます。 学習意欲がありながら、「時間的余裕がない」「経済的負担が大きい」「家庭や職場の協力が得られない」などの理由で具体的な学習活動参加の難しい人たちのために、身近で気軽に学ぶことのできる環境づくりが必要です。 市民の学習ニーズの多様化や社会変化に対応するために、博物館の展示・企画の充実や施設の改修を行うとともに、体験を重視した普及教育活動を進める必要があります。
--------------------	--

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
-------	----	-----	---------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
学び続ける環境づくり		図書館のサービスを充実するとともに、市民の学習ニーズに応じて生涯学習教室や講座を開催し、学ぶ意欲や教養を高めます。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
図書館資料収集保存事業		図書、雑誌、新聞、視聴覚資料等を収集保存し、市民や利用者に提供します。								
生涯学習振興事業		社会教育関係者に研修を実施し、生涯学習の振興を図ります。								
生涯学習教室		学習と交流の場と機会を市民に提供し、生涯学習を推進します。								
基本事業①の目的【意図】		学びやすい環境を整備することにより、多くの人が生涯学習を行います。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
市民一人あたり図書館貸出冊数	冊	7.93	7.95 7.84	8.00	8.05	8.10	8.15	8.20	8.50	
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	20.8	20.0 18.3	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
地域の教育力の向上		地域の教育活動の拠点としての公民館を活用して、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりへと発展するよう支援します。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
公民館運営事業		住民の教養の向上の拠点としての公民館施設の維持管理を図ります。								
青少年・女性・高齢者教育事業		幅広い年代層の市民を対象に、各種講座を開催し、生涯学習の機会を提供します。								
放課後こども教室推進事業		公民館、小学校で、小学生を対象に、いろんな遊び、伝統芸能、サークル活動を実施します。								
公民館活動振興事業		公民館で各種教室、地区運動会、敬老会、文化祭を開催し、地域住民の交流を図ります。								
基本事業②の目的【意図】		公民館で、様々な年代の住民同士が互いに学びあい、仲間づくりを行います。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
地区公民館利用者数	人	130,358	130,500 134,337	130,700	130,900	131,100	131,300	131,500	132,000	
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
博物館の充実		より魅力ある水族博物館、埋没林博物館、歴史民俗博物館を目指して、企画展示の充実と施設整備を行います。また、アウトリーチ活動やITを活用した積極的な情報発信に努めます。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
博物館企画展示事業		各館でテーマを設けて、特別展示を行い、情報発信に努めます。								
博物館改修事業		博物館の修繕やリニューアルを実施し施設の維持管理に努めます。								
蜃気楼ネットワーク事業		蜃気楼交流会を開催し、蜃気楼の情報を全国に発信します。								
アウトリーチ事業		小学生や一般を対象に裾野を広げる契機として出前講座等を行います。								
基本事業③の目的【意図】		生涯学習施設として博物館が役割を果たします。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
博物館合計入場者数	人	216,019	217,000 178,540	218,600	220,200	221,800	223,400	225,000	230,000	
博物館の企画展と学習会の開催回数	回	31	31 31	32	33	34	35	36	40	
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進
-------	----	-----	---------

22年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)
	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人あたりの図書館貸し出し冊数は、22年度で若干減少している。 地区公民館の利用者数は22年度では134,337人と前年比3%の増となっており、地域の教育活動の拠点として利用がされている。 市民アンケートの結果では、市、県、民間が実施する生涯学習講座が充実し利用しやすくなっていると感じている人の割合及び、様々な講座や団体活動に参加するなど生涯学習に取り組んでいる人の割合は、21年度に比して22年度はやや減少している。 博物館の入場者数は前年比△17%と大きく減少している、これは21年度が天地人効果により大きく入場者数が増加したが、その効果は1年で終わったものと考えられる。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
	他市と比較はしていないが、市内各公民館、天神山交流館、新川文化ホール、みどりの高校で生涯学習講座を開催しており、施設並びに講座も多い、図書館も夜間9時まで開館しており利用者も多い。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
生涯学習に取り組んでいない人の割合が21年度14.2%から22年度24.6%と大きく増加している。社会情勢の変化等により時間的余裕がなくなってきたためなのか、短期コースを開設するなど、参加しやすい環境づくりに努める必要があると思われる。	
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ①水族博物館、埋没林博物館、図書館では、定期的に博物館教室や学習会を開催している。 ②自分の住む魚津市のことをもっと知るために「ハートフルセミナー」を開催し、地元企業見学も実施している。 ③地区公民館では、それぞれの地区の特性を生かした講座を開催している。 ④短期コースを実施したことにより、市が主催する生涯学習教室への関心が高まり、新規の受講生が増えてきている。 	
3. 施策の課題認識及び23年度の取り組み状況(予定) (22年度末で残った課題、既に23年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ①市民の多様なニーズに応えるため、新規講師の発掘、新規講座の開設をする。 ②市民の学習機会の拡充のため、受講しやすい生涯学習短期コースの開設により新規受講者の増加を目指す。 ③青年を対象とした、青年活動パワーアップ事業を実施する。 ④埋没林博物館のハイビジョン更新による学習効果・集客力の向上を図る。 ⑤埋没林博物館の属する「みなとオアシス魚津」等周辺施設との連携強化による博物館施設の新しい魅力創出を推進する。 	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※今後の施策の方向性※	維持
	図書館、中央公民館、地区公民館で行われている各種教室や交流活動は活発に行われており、今後も引き続き、誰もが学びやすい環境づくりの実現のため、施策の水準の維持に努めたい。 博物館の充実については、各博物館において企画展示の充実を図るとともに、水族館については100周年に向かって、施設整備を進める。	

行政経営戦略会議指示 事項	部会評価のとおり推進すること。
------------------	-----------------

施策の トータル コスト	区 分						
	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
A. 本施策を構成する事務事業の数	本数						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円						
C. 事務事業に要する年間総時間	時間						
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円	0	0				
E. トータルコスト (B+D)	千円	0	0				
効率性 指標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の						
F. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	0	0				
同上							
G. 人件費 (定義式 : D/人口)	円	0	0				
同上							

施策No.	31	施策名	生涯学習の推進					
H. トータルコスト (定義式 : E/人口)								